

「だれもがだいすきな水守の郷 しちかしゆく」の実現に向けて

平成25年第一回定例議会が、3月5日から18日までの日程で開催され、初日には町長の施政方針が述べられました。

平成25年度の主な事業

本町の予算は、「くらす」、「まもる」、「まなぶ」の3つの柱を中心とした「第5次七ヶ宿町長期総合計画」の実現に向けての施策を実施するほか、緊急性の高い事業について積極的に取り組むこととします。

平成25年度は、道の駅七ヶ宿建築工事、農林産物保管庫（雪室）工事や老人福祉施設敷地造成事業などを予定し、産業振興や高齢者福祉態勢の確立が図られるものと、期待をしています。

また、私立高校と柏木山放牧場の除染作業を実施し、放射線量軽減と牧

場の早期再開に向けて取り組んでまいります。

今年度、本町で開催される「ガラススキー世界選手権2013」は、12ヶ国より1500人の選手関係者が参加を予定しております。

今回の大会により、国内外に七ヶ宿町の存在を強くアピールすることが出来るとともに、児童生徒や住民等との交流事業



▲24年度ガラススキージャパンオープン

等により国際理解の推進が図られるものと思えます。

住民が「くらす」ため

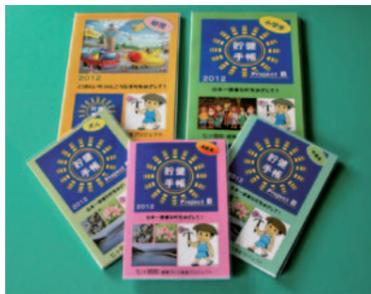
平成25年度から取り組んでおります「元気な地域づくり交付金事業」は、最終年度を迎え、各地区でそれぞれ特色ある事業に取り組みしており、要望のありました予算を措置いたしました。

また、「第5次七ヶ宿町長期総合計画」の実現を図るため、プロジェクト事業の「地場産品（お土産）の一品開発」と「健康作り・貯健手帳の活用」そして、「滞在人口の確保に向けた実践」を展開し、商品開発と雇用の創出、健康日本一、

集落機能の維持と活性化を目指してまいります。新規事業とし、「地域おこし協力隊」の創設に向けた取り組みを行ってまいります。

水田農業の振興は、「農業者戸別所得補償制度」が、「経営所得安定対策」となり実施されます。

生産数量目標の農業者間調整として「地域とも補償制度」を活用し、「七ヶ宿町水田農業推進協議会」と共に不交付農家の解消に努めてまいります。農家の所得向上と自給率向上に、関係機関とも連携しながら、この制度を有効に推進してまいります。



▲貯健手帳

本年度は、「第15回米・食味分析鑑定コンクール国際大会」が本町において開催予定であり、本町のPRを全国に発信できる絶好の機会と促しております。

農業基盤整備は、優良で適正規模の農地の確保を図るために、4地区、約21haのほ場整備と開水路改修が計画され、事業推進のため積極的に支援をしてまいります。

有害鳥獣対策は、宮城県、福島県そして山形県の自治体や関係団体で構成する南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会による県域を越えた広域的な事業展開を実施するほか、駆除隊の協力のもと、追い払いパトロールを継続して農作物の被害防止に努めてまいります。

商工業の振興は、商工会員の要となる商工会の役割と責務は、従来にも増して大きいものがある

り、町としての確に支援してまいります。

県内で実施されます観光イベント「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」は、「笑顔咲く旅・伊達な旅」のキャッチフレーズにより、実施されることから、本町の観光施設の魅力付けや隠れた地域資源を活かした七ヶ宿ならではの「おもてなし」をもって、観光客の誘致と定着化に結びつけたいと考えております。

七ヶ宿スキー場は、近年の経済状況にも関わらず、上向きの傾向の営業成績で推移しており、さらに、利用者の安全とサービス向上を図るため、老朽化に伴う施設の修繕、改修費を措置いたしました。

道路整備は、山一橋耐震補強工事を実施するほか、道路維持に関しては、90路線の町道について町

民の生活路線の確保を図ります。

住民を「まもる」ため

高齢者の方が、生き甲斐を持つて生活できる環境を提供することは、老人福祉政策の根源であり、活力ある七ヶ宿町を構築する上で、大きな役割を担っております。

このため、新高齢者センターを拠点に、高齢者の見守り支援事業実施のための支援員を配置し、高齢者が安心して生活できるまちづくりを推進していくとともに、シルバー人材センターの開設へ向けて準備を進めてまいります。

子育て支援、医療費助成、住民健診及び妊婦・乳児も含めた各種健診の無料化、予防接種費用の助成等、町単独の各種支援施策につきましても、引き続き実施いたします。

社会的に弱い立場にある障害者の方だれもが快適に自分らしく生活ができる共生社会の実現を目指す。相談機能及び福祉サービスの広域的基盤整備に努め、障害を持つ人が地域で、安定し安心して生活が続けられるよう、また自立更生ができるよう関係機関と連携し、支援及び施策の推進を、引き続き図ってまいります。

放課後等の子ども達への支援として、行っている七ヶ宿クラブ事業につきましましては、高齢者や障害のある方々との交流をメニューに加えて継続実施いたします。

住民が「まなぶ」ため

児童生徒の減少に伴う学校教育のあり方については、七ヶ宿町立学校再編等基本方針に基づき、①関小学校、湯原小学校を廃校し、統合小学校の校名を「七ヶ宿小学校」

とします。②校舎は、現在の関小学校校舎を使用します。③再編(統合)は、平成26年4月1日とします。併せて、廃校となる湯原小学校校舎の有効活用を検討します。



▲ジュニアリーダーの活動の様子

学校教育関係は、町の特性や課題に対応した教育活動を行い、児童生徒の生きる力と教育力を向上させ、児童生徒及び町民みんなが誇れる学校づくりを目指すため、平成22年度より実施しております「自慢の学校づくり」を引き続き推進いたします。

社会教育関係は、町民が生涯にわたって心豊かに安心して学習ができる機会を設けるために、町

内の社会教育施設を有機的に活用し、関係機関との事業協力を更に進めた生涯学習体制を充実する一方、学校・家庭・地域が一体となった協働教育事業の推進と充実を図ってまいります。

青少年教育は、子どもの豊かな体験活動を通して、挑発する勇氣や自然への情感あふれる感性を育んでいくため、「わんぱく探検スクール事業」「ジュニアリーダー初級研修」を実施いたします。成人教育につきましては、住民の多様なニーズを把握して学習機会を提供するための、講座を実施し、町民のスキルアップや地域の活性化を図ってまいります。

当初予算のあらまし

平成25年度当初予算のあらましについては、別に配布する「ことしの仕事・町の家計簿」をご覧ください。